



吉井田小 校章  
昭和39年制定

令和元年度 学校通信 No. 11 [2020.1.9]

# 野 菊

笑顔が輝く学校

福島市立吉井田小学校  
児童数 463名(1/8)  
発行者 校長 遠藤嘉人

**あけまして  
おめでとうございます**

令和元年度第3学期が、スタートしました。昨年末のインフルエンザも治まり、何人かの欠席者はおりましたが、子どもたちは元気いっぱい登校しました。

第3学期は、50日間と短い学期ではありますが、1年間の締めくくりとして、6年生は、6年間の締めくくりとして、とても大切な学期です。

子どもたちには、そのような意味も込めて、始業式で以下のような話をしました。

50日間、子どもたちに寄り添いながら、一人一人の成長、学級としての成長、学年としての成長をサポートしていきたいと思えます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

おはようございます。

今日は、三学期の始業式です。新しい年になって初めての集会ですので、改めて、新年のあいさつをしたいと思います。元気よくあいさつをしましょう。

「あけましておめでとうございます。」とってもすばらしい、あいさつでした。

さて、今日からいよいよ三学期です。この学期は、一年の中で一番短い学期です。50日しかありません。でも、一年間のまとめや締めくくりをする、とても大事な学期です。

去年のこの式には、「終わりよければ、すべてよし」という話をしました。「物事に取り組む途中には、うまくいくこともあれば、いかないこともある。でも、最後がうまくいったなら、途中でうまくいかないことがあっても、それは問題にならない。物事の締めくくりが、一番大事だ」ということです。

今年は、お正月の箱根駅伝で優勝した青山学院大学のスローガン「やっぱり大作戦」をみんなに紹介します。みんなにもやってもらおうと思っています。青山学院大学の「やっぱり大作戦」とは、「やっぱり強い！やっぱり勝てる！やっぱり青山学院大学は強かった！」と選手一人一人が、思えるようになることでした。

これを、吉井田小学校に当てはめると、こんなふうになると思えます。

3学期終わりの50日後には、「やっぱりこのクラスはよかった」「やっぱり今年の卒業生はよかった」「やっぱり今年はがんばれた」「やっぱり友だちと仲良くやれた」「やっぱり委員会や係の活動ががんばれた」ということが、みんな一人一人が思えるようになることです。

一学期や二学期のことを思い出してください。

勉強がどんどん分かって楽しかったこともあれば、分からなくていやになったこともあるでしょう。できるようになったこともあれば、なかなかできなかったこともあるでしょう。先生に褒められたり、叱られたり、友だちと喧嘩したり、仲良くなったり、うまくいったこともあれば、うまくいかなかったこともありますね。

でも、最後に振り返ったときに「やっぱりよかった」と思えるようになればいいのです。

そのためには、一学期、二学期を振り返って、自分でできるようになったこと、頑張ったこと、できるようになりたいこと、頑張りたいことを整理して、その中からめあてを決めて努力することが大切です。

「やっぱり大作戦」で一年間のいい締めくくりができるよう、この三学期、自分のめあてをしっかりとって頑張らしましょう。

最後に、6年生にとってこの三学期は、一年間の締めくくりであると同時に、小学校生活6年間の締めくくりでもあります。卒業までの残された小学校生活、どんな「やっぱり大作戦」を立てますか。ぜひ、めあてをもって大事に過ごしてください。そして、小学校生活のいい締めくくりをしましょう。

学級での「やっぱり大作戦」。一人一人の「やっぱり大作戦」を立てて、みんなで一緒に頑張っていきましょう。